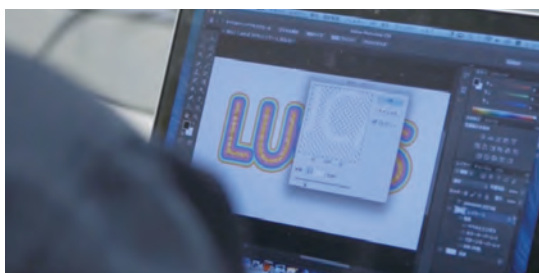


「画像工学」ってなに？

印刷物は、写真やイラスト、文字などのイメージデータを元に作られています。このイメージデータを処理して見やすく、分かりやすい印刷物を作る処理を画像処理といいます。画像処理に関する仕組みや技術、最先端の情報発信技術を学ぶのが画像工学の学習内容です。

印刷物を作る過程で、様々なイメージデータをデジタルで作成します。このデータを印刷物だけでなく様々なメディアに利用することをクロスメディアと呼んでいます。



画像工学科の実習って どんなものがあるの？

グラフィックアーツ分野

印刷に関する技術を中心に学び、カレンダーやポスターなどの製品製作の工程とその技術を学びます。コンピュータ上で印刷物の紙面を作成し、「印刷機械」を使って実際の製品を印刷していきます。

マルチメディア分野

写真やイラストデータを処理し、動画なども編集加工し、マルチメディアコンテンツを作成し、WEBや各種メディアでの情報発信技術を学び、作品を制作して行きます。



画像工学科

クロスメディアで
時代を創る「画像工学科」



画像工学科の進路って どうなってるの？

●画像工学科関連の主な就職

DTP技術者や印刷技術者として、印刷業界の大手に就職しています。

また、WEB関連企業への就職もあります。

●画像工学科の専門を活かした進学

マルチメディア関連の進学先が多いようです。CGクリエイターやゲームクリエイターなどは、専門学校へ進学してからの進路先になります。情報系の学校への進学者もいます。



画像工学科は どんな資格試験があるの？

●グラフィックデザイン検定

画像工学科専門の資格検定です。

●Photoshop、illustrator 検定

専門科目で使うアプリケーションソフトの検定で数種類あります。

●メディア・ユニバーサル・デザイン教育検定

色覚障がい者の方々にもわかりやすい印刷物、Webデザインなどを、制作・発注できる知識・技術を習得することを目的にした検定です。

*その他、工業高校ならではの検定が各種あります。演習や実習の中でも資格取得に取り組んでいます。